



PRESS RELEASE



日立市

令和8年2月2日

日立市産業経済部

かみね公園管理事務所

かみね動物園のアジアゾウ「ミネコ」の死亡について

かみね動物園で飼育しておりましたアジアゾウ「ミネコ」が死亡したのでお知らせします。

なお、後日かみね動物園において「お別れ会」の開催、献花台の設置を予定しています。詳細はホームページでご案内します。

記

1 死亡動物

アジアゾウ（個体名「ミネコ」） メス 44歳

※1 「神峰山」の峰（ミネ）から命名

※2 アジアゾウは絶滅危惧種

2 死亡日時及び死因

令和8年2月1日（日） 午前8時22分

循環器不全のため（令和8年2月1日解剖済）

3 経歴

昭和56年10月1日 ミャンマーのゾウキャンプ生まれ

昭和62年12月13日 かみね動物園に来園（在園期間38年1月）

4 当園のアジアゾウ飼育頭数

1頭（個体名「スズコ」、メス45歳、昭和62年6月来園）

【問合せ】日立市産業経済部かみね公園管理事務所（担当 梅原）

TEL 0294-22-5586

かみね動物園のアジアゾウ「ミネコ」の死亡について (日立市長コメント)

かみね動物園で38年間にわたり多くの来園者の皆様に親しまれてきたアジアゾウのミネコが、令和8年2月1日に44年の生涯を閉じました。

動物園の枠を越えて本市のシンボル的存在として、家族連れをはじめ幅広い世代の方々に愛され、数えきれない笑顔と思い出をもたらしてくれていただけに、誠に残念でなりません。

ミネコは、動物園入口近くで、スズコとともに来園者の皆様をお迎えしてきました。大きな体に穏やかな目、鼻を器用に使って餌を食べる姿や、ゆったりとした動きは、今もまぶたに焼き付いています。加齢に伴う体調の変化もありましたが、最後まで懸命に生き抜いたミネコの姿に、心から敬意を表します。

また、これまで長きにわたりミネコのことを温かく見守り、会いに来てくださった多くの来園者の皆様に深く感謝申し上げます。

この大切な命から学んだことを未来へつなぎ、これからもかみね動物園が命の尊さを伝えられる存在であり続けられるよう努めてまいります。

令和8年2月1日

日立市長 小川春樹